

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	リメディアル数学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の変形ができる。(A1) ・分数式の計算ができる。(A1) ・簡単な方程式、不等式が解ける。(A1) ・簡単な関数のグラフが描ける。(A1) ・三角比がわかる。(A1) 						
日程と内容	04/10 導入講義 04/17 整式の計算と因数分解 04/24 分数式の分離・計算 05/01 関数と方程式 (1) 05/08 関数と方程式 (2) 05/15 弧度法、三角比と三角関数の定義 05/22 三角関数と加法定理 05/29 逆三角関数、三角関数の合成 06/12 指数法則と対数の性質、指数関数と対数関数 06/13 中間試験 06/19 指数・対数関数のグラフとデシベル 06/26 双曲線関数 07/03 平面図形と二次曲線 07/10 総合演習 (1) 07/17 定期試験 (第1回) 07/24 総合演習 (2) 07/31 定期試験 (第2回)						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業達成目標のいずれの項目も概ね達成している。						
反省点	教科書の変更と共に前年度より講義内容(レベル)を引き上げ、成績上位の学生の興味を引き出すように工夫したが、学力格差が大きくなり、成績上位者が満足できる内容となっていないように感じられる。習熟度の違いを考量しながら、学生の興味を引き出せるような講義になるように改善に努める。						
来年度の計画	次年度より「リメディアル数学」と「基礎数学」の内容を統合して、「基礎数学」となる。講義内容の削減予定はないが、授業内容をうまく統合・精査して、学生の理解度が深まるように授業計画を立てる。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容の理解や説明に関する評価など、全体的に前年度よりポイントが上昇したが、合格率が4%減となってしまった。自己学習の平均時間が短い傾向が伺えるので、演習問題や課題を課すなどして、合格率と学生の満足度を高めるような工夫が必要である。						
履修登録者数	66名	定期試験受験者数	64名	合格者数	56名	合格率	88%